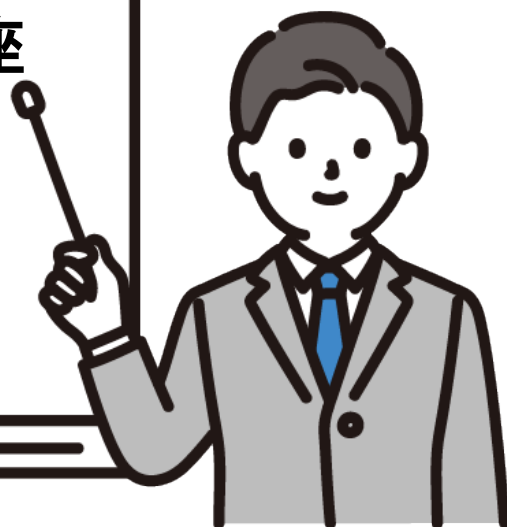


各コース
先着**25名**

自治体職員 まちづくり関係者向け講座

受講者募集



【Aコース】

プレゼンテーション力 向上講座

- ① 2025年12月17日（水）
- ② 2025年12月23日（火）

【Bコース】

政策能力向上講座

- ① 2026年1月14日（水）
- ② 2026年1月21日（水）

対象者

熊本県内の自治体職員^{*1}及びまちづくり関係者^{*2}

*1 自治体職員とは、県及び市町村、関係団体、独立行政法人、一部事務組合、広域連合などの職員です。

*2 まちづくり関係者とは、地域おこし協力隊員や自治会役員など、実際に自治体と共にまちづくりに関わっている方です。



熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

熊本県立大学（無料駐車場有り）
熊本市東区月出3-1-100

① 2025.12.17(水) 14:00～16:00

「プレゼンテーション入門
～プレゼン資料作成基礎講座～」

② 2025.12.23(火) 14:00～16:00

「プレゼンテーション実践」

申込期限

2025年12月5日（金）

※A・B両コース受講の場合も上記期限まで

① プレゼンテーション入門

石橋 賢 准教授

ISHIBASHI Ken

事業や施策の意図など情報を的確に伝え、説得力のある説明や高い評価を得られるプレゼンテーションの方法を学び、プレゼンテーション力（説明力・表現力）の向上を図ります。

①聴衆の心理面の理解、②理路整然とした話の構成、③パワーポイントによる視覚的な表現・伝達テクニックについて、実践形式の演習を交えて、各スキルの習得を目指します。

情報処理実習室で、本学のPC端末を使っていただきながら講義を行います。

受講決定した方に当日利用可能なMicrosoftアカウントを発行します。



石橋 賢 准教授 略歴

2014年北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士後期課程修了。2015年より熊本県立大学総合管理学部総合管理学科講師、2018年准教授、現在に至る。博士（知識科学）。感性情報メディアの創出およびグラフィックデザイン支援に関する研究に従事。



研究者情報データベース

② プレゼンテーション実践

上拂 耕生 教授

UEHARAI Kosei

石黒 已紀子 教授

ISHIGURO Mikiko

行政の説明資料は、伝えるべき事項が多く、また内容も専門的で、さらにさまざまな配慮が求められるため、情報量が過多になりがちです。その結果、住民に本来の趣旨や意図が十分に伝わらず、思わぬ誤解を招くことさえあります。

そこで、第1回「プレゼンテーション入門」で学んだ内容を踏まえ、自治体職員の実務に関連するテーマを題材に、実際にパワーポイント資料を作成していただきます。作成した資料を用いてグループワーク形式でプレゼンテーション演習を行い、伝わる資料づくりと効果的な発表のポイントを実践的に学びます。

当日はPC端末をお持ちいただくか、事前にお申し出いただければ端末の貸出も行います。受講決定後に事務局へお知らせください。

当日のみ利用可能なGuest Wi-Fiを用意します。

第1回の講義終了後、簡単な課題を出しますので、第2回の講義受講の際にデータを持参ください。



上拂 耕生 教授 略歴

2003年神戸大学国際協力研究科博士後期課程修了、法学博士。2004年熊本県立大学総合管理学部講師、2007年准教授、2016年教授、現在に至る。専門分野は行政法と中国・台湾法。情報公開・個人情報保護のほか、自治体におけるまちづくりと法政策などを主な研究テーマとしている。



研究者情報データベース



石黒 已紀子 教授 略歴

2001年お茶の水女子大学生活科学部人間生活学科生活社会科学講座卒。同年熊本県庁入庁。玉名地域振興局税務課、総務部財政課、企画振興部企画課、健康福祉部子ども家庭福祉課などを経て、2023年熊本県立大学総合管理学部教授として派遣、現在に至る。



研究者情報データベース

「統計データと政策評価・立案の考え方

—EBPM(エビデンス・ベสต์・ポリシー・メイキング)入門—」

(※全2回)

① 2026.1.14(水) 14:00～16:00

② 2026.1.21(水) 14:00～16:00

申込期限

2026年1月5日 (月)

統計データと政策評価・立案の考え方
—EBPM(エビデンス・ベสต์・
ポリシー・メイキング)入門—

本田 圭市郎 教授

HONDA Keiichiro

EBPM(エビデンス・ベสต์・ポリシー・メイキング、証拠に基づく政策立案)とは、統計データ等に基づく合理的根拠(エビデンス)を活用し、政策の実効性を高める取り組みです。地方自治体レベルではまだ普及しているとは言えない、しかし今後益々重要視されてくるこの取り組みについて、従来のデータ分析との違い、EBPMにおける思考法の習得を目指します。

講師の本田教授は、経済産業研究所の協力のもと、熊本市における中心市街地活性化政策の評価を行っています。その具体例などを踏まえながら、地方自治体でも実施可能なEBPMと一緒に考えてみましょう。受講の際は、評価を行ってみたい身近な取り組みや政策について、①できる限り具体的に、②評価に使えるような統計データ(公的統計、独自調査問わず)案をあわせて、③できるだけ複数の例を、事前に自由に想像・検討してお越しください。



本田 圭市郎 教授 略歴

2012年大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程修了、博士(応用経済学)。2013年より熊本県立大学総合管理学部講師、2017年准教授、2025年教授、現在に至る。専門は計量経済学、国際貿易論。貿易政策をはじめ、小売業やまちづくりなど、統計分析による政策評価が主な研究テーマ。



研究者情報データベース

目的

本学では、平成22年度（2010年度）より自治体職員向けCPD講座を開講してきました。
今年度は、平成31年度（2019年度）に開講し好評を得た、プレゼンテーションとEBPM（エビデンス・ベスト・ポリシー・メイキング）の講座をブラッシュアップして開講することとしました。

対象者

熊本県内の自治体職員*1及びまちづくり関係者*2

*1 自治体職員とは、県及び市町村、関係団体、独立行政法人、一部事務組合、広域連合などの職員です。

*2 まちづくり関係者とは、地域おこし協力隊員や自治会役員など、実際に自治体と共にまちづくりに関わっている方です。受講希望の方は自治体担当課を通してお申し込みください。

*3 受講申込には連絡先として自治体職員のE-mailアドレスが必要になります。（ドメインで受付の可否を判断させていただきます）

受講料

受講コース		金額	振込期限
Aコース	（プレゼンテーション力向上講座）	5,000円	2025年12月12日
Bコース	（政策能力向上講座）	5,000円	2026年 1月 9日
A+Bコース	（両コース受講）	8,000円	2025年12月12日

受講決定後にお送りする受講料振込案内に従い、期日までに本学指定の銀行口座にお振込みください。（領収書は原則発行いたしません。）

振込手数料はご負担ください。

本学の責めに帰すべき事由の他は返金はいりません。

受講料に関して特別の要望がある場合は申込Form内よりお問い合わせください。

- 例）・所属団体宛の請求書
・公費払いによる振込期日の変更
・領収書の発行希望

申込方法

熊本県立大学ホームページまたはWEBサイト「地域ラブラトリー」の講座紹介ページに掲載している申込Formからお申込みください。
受講申込には連絡先として自治体職員のE-mailアドレスが必要になります。（ドメインで所属を判断させていただきます）
同じ所属かつ同じコースを受講希望される場合、3名まで同時にお申込いただけます。

熊本県立大学HP

> 地域連携

> 地域連携のお知らせ

WEBサイト「地域ラブラトリー」

> 講座・学び

> 現在受付中の講座



申込期限・受講決定

受講コース	申込期限
A+Bコース	2025年12月5日(金)
Aコース（プレゼンテーション力向上講座）	
Bコース（政策能力向上講座）	2026年 1月5日(月)

先着順で、定員（25名）に達し次第、受付を終了します。申込期限前に受付を終了した場合は、本学HP、地域ラブラトリーに掲載します。
申込受付後、概ね1週間以内に受講の可否を決定し、受講決定通知書兼受講料振込案内をE-mailでお送りします。

申込・問合せ先

熊本県立大学 地域・研究連携センター

〒862-8502

熊本市東区月出3丁目1番100号

電話 096-321-6612

E-mail kendai-cpd@pu-kumamoto.ac.jp

担当 渡邊



現在受講受付中の講座

熊本県立大学では、年間を通して様々な公開講座等を実施しております。大学ホームページやWebサイト「地域ラブラトリー」で随時お知らせしておりますので、是非ご覧ください。



防災クロスロード

クロスロードは、災害時に直面する“答えのない問い”を題材にした防災教材。カードに書かれた状況にYESかNOかで答え、その理由を語り合う。

日時

12/6（土） 13:00-



参加費

1,000円（中学生以下無料）

江戸の文化を見る、知る、読む —南畝・ケンペル・蔦重とその時代—

多様な江戸の文化・文学の魅力を紹介、解説。今回は「蔦屋重三郎の戯作出版」と題し、鈴木俊幸（中央大学教授）が講演する。

日時

12/20（土） 13:00-15:00

参加費

無料



球磨川流域圏バーチャルキャンパス

2020年7月豪雨による災害からの創造的復興を目指し、球磨川流域の文化、歴史、環境をテーマにした公開講座を開催中。

受講期間

～2026年1月31日（土）

受講料

無料



熊本県立大学の 地域ラブラトリー

地域愛でつなぐ

熊本のお役に立ちたい

大学の研究の根底にあるもの。その大きな目的のひとつに「地域のため」があります。

地域活性化につながる活動や取り組み、地域の人の学び直し、学び足しのサポートなど、

熊本県立大学の活動を「地域ラブラトリー」と名付け、webサイトで発信しています。

〔地域ラブラトリー〕とは...地域愛(LOVE)と研究室(LABORATORY)を合わせた熊本県立大学オリジナルの造語です。

協働をテーマにした地域ラブラトリー

地域ラブラトリーでは、地域とともに協力して取り組む2つの要素を発信しています。



活動・取り組み

地域や企業と協働で、研究や取り組み、活動を行っている協働事業をご紹介します。
「こんなことを大学と一緒にしたい」「地域と一緒に盛り上げたい」など、お気軽に声をかけてください。

総合管理学部 西森ゼミ

自治体等と協働し、地域のイベント等において、eスポーツなどを用いた認知症予防・世代間交流等の地域福祉活動を実施

総合管理学部 飯村ゼミ

県内の支援学校や他大学や自治体の方々にご協力いただき、iPadだけで視線入力トレーニングを行うことができるアプリケーション「iChase」を研究開発

総合管理学部 飯村ゼミ

自治体にご協力いただき、小学校音楽教育において楽譜を読む力を鍛えることを目的にアプリケーション「ふるじっく」を開発

環境共生学部 井寺ゼミ

自治体と連携し、和菓の知名度向上の研究を実施。学生が菓の生産者や製造者の方々のインタビュー調査を実施。取材した内容は市の観光サイトで発信された

環境共生学部 松添研究室

大学や民間企業でコンソーシアム構成員し、水田で活躍する除草ロボットを開発研究を実施。社会実装を目指している

環境共生学部 田尻研究室
食育推進学生グループ たべらぼ

産官学連携で塩分控えめでも野菜を摂れるお弁当を開発。県内の店舗で数量限定で発売された



講座・学び

地域の方の「知りたい」や「学びたい」を支援する場を提供しています。
大学の授業だけでなく、地域における講演やワークショップなど、幅広い内容でサポートします。

地域・研究連携センター

令和2年7月豪雨による災害からの創造的復興を目指し、球磨川流域の文化、歴史、環境をテーマとした無料公開講座バーチャルキャンパスの実施する

文学部 真島先生

江戸文学・文化の魅力と特色についての、具体例を伴った最新の知見をご紹介します特別講座を3名の講師により実施する

文学部 大島先生

大島教授が「人物書 志筑忠雄」を刊行したことを記念し、公開講演会を開催した。

地域ラブラトリー

熊本県立大学
Prefectural University of Kumamoto

運営：熊本県立大学 地域・研究連携センター

地域ラブラトリーへのご相談やお問い合わせはお気軽に！

tel.096-321-6612

<https://puk-loveratory.com>

受付 9時-16時(土日祝を除く) fax.096-387-2987